

1988/07/18

ティファニーで朝食を

# Breakfast at Tiffany's

原作 / トルーマン・カポーティ

Truman Capote

ミュージカル台本 / 小林 志郎

KOBAYASHI S hiro



このミュージカルは、「近鉄アート館」の柿落しの作品として書かれた。本位田永樹・佐野訓勝両プロデューサーの励ましと協力でどうにか本になった。上演台本に仕上げるに当たって、わたくしが書いた膨大な散文様式の歌詞を、作詞家の三浦徳子氏と作曲家の加藤和彦氏による圧縮、削除、加筆等のご苦労があつてミュージカル・ナンバーとして誕生した。ここに掲載しているスクリプトは、上演台本ではなく、わたくしが書き上げてプロデューサー手渡しした原稿である。

わたくしが貧乏学生るとき、ブロードウェイで芝居を観た後、ティファニーへ寄った記憶がある。そうそう Radio City Music Hall でショーを見た後、道に迷って小一時間歩いて疲れ果てたとき、そこにティファニーがあつた。

トルーマン・カポーティという作家は、異才の人という恐ろしさがある。幼くして作品を世に出した人は、おしなべて取り付きにくいし、解りにくい。カポーティは「アンファン・テリブル」と評されたが、いったいどんな人物だったのだろうか。固い個を持っている人のそばへはあまり行きたくない。

小説『ティファニーで朝食』はあまり面白くない。映画はもっと面白くなかった。ギリシャの三大詩人やアイスキュロスは、「議論しても答えの出ない人間の不合理や不条理などは、舞台上で人間の行動として表現すれば、奥に潜む真実が見えてくる」と演劇を考えていた。そんな演劇観をわたくしは大変気に入っていたが、自分が書いて演出したミュージカル「ティファニーで朝食を」はどんな真実を提示できたか、いまだわからない。1988年11月11日が初日だった。

いま、校正しながら読み返すと、なかなかわたくしらしさが光っている作品だと自賛する。ご意見とご指導を期待しています。

原作ノトルーマン・カポーティ

ミュージカル脚本ノ小林 志郎

## 「プロローグ」

### M 1「プロローグ」

客席の上手と下手のギャラリーに使い込まれ、古くはなっているが、アールヌーボー風の美しい窓が並んでいる。それはわたしとホリーが住んでいるアパートメントの窓である。「プロローグ」では使用されないが、後のシーンで何度か窓として重要な機能を果たす。最初ほどの窓も観客の関心を引かない。

(註 スラスト・ステージではステージの床がドラマに含まれる物語を語り、時代・場

所を説明し、登場人物の性格を表現し、そしてテーマを表現する対象として大切な存在であると思っている。そこで舞台床はアクティング・エリアとして使いやすい面構成であると同時に空間表現としても豊かな表現力を持たせたい。）

ジョーが経営する、レキシントンの小さなバー。午後四時頃。

ピアノとジュークボックスとカウンターがあるだけ。彼がピアノを弾く。わたしがピアノの側に立って、観客に語りかける。私は手に赤毛の猫を抱いている。

この猫はほぼ実寸大の大きさをシンプルなデザインと構造であることが望ましい。ただ目と耳が簡単に操作でき、必要に応じて十分な表現が可能でありたい。猫は全部で三匹必要である。一匹は私やホリーが抱くA猫、二匹目はそれよりもやや大きめのB猫。これは猫が人間の手を離れて本箱の上や窓の手すりですら歌う時に使われる。三匹目は高い場所に移動し、つまり扉の上や本箱の上に移動しそこで演技をするC猫で、彼には「差しがね」がついていてクロスまたは後見によって操作される。

M. 2 『ホリー！ゴライトリー』

わたし

みなさん

これから一〇年まえにさかのぼって

一人の女性のお話をします

彼女の名前はホリー・ゴライトリー

ホリーは当時二十歳、もう少女ではありませんでした  
でも大人と言うには純粹過ぎたし

大人と言うには繊細過ぎたのです

ところで、ピアノを弾いているのはジョー・ベル

このバーのオーナーで、ホリーと私の共通の友だちです

ところで私はバスター、小説家です

その頃は一本の小説も活字になっていませんでした

ホリーは私のことをフレッドと呼んでいました

それから私はホリーが飼っていた赤毛のトラ猫としても登場します  
もちろん猫に扮装したりしません

彼の心を語る役をするのです

わたしとジョー

ホリー、少年のように髪を刈り込んでいる

黒のドレスに黒のサンダル

ジョー

首には真珠のネックレスをかけ  
痩せていたが若さに満ちていた  
石鹸とレモンの香りをただよわせていた  
ホリーは少女ではないが  
まだ大人ではなかった

ホリー・ゴライトリーの好きな歌を歌おう  
ホリーがさびしそうに歌った歌

わたしとジョー

眠りたくもなし  
死にたくもなし  
ただ旅して行きたいだけ  
大空の牧場を通って

コーラス

眠りたくもなし  
死にたくもなし

## 赤毛の猫

ただ旅して行きたいだけ  
大空の牧場を通って

ミヤオー ミヤオー

私はホリーに

川のほとりで会った

ミヤオー ミヤオー

ホリーは自由が大好きな人

だから猫のおまえも自由だと言う

私は名前がほしかったのだけど

ホリーは名前をつけてくれなかった

## わたしとジョーと猫

ホリーの願いは

リッチ・アンド・フェイマス

豊かで自由な生活

ホリーはアンバランスなロマンティスト

ティファニーの高価な空間と

図書館の知的な空間が大好きだった

わたし

ホリーは不可思議な女性でした。野生的でデリケート、ナイーブで奔放。中年の男たちを魅了した妖精のような女。

このミュージカルは、そんなホリーの一九才から二〇才までの人生の断片です  
ホラ、あの紫色のドレスを着た妖精がホリーです



## 「パーティ」

プロローグ」は、ギャラリーにあるホリーの部屋から響きわたるダイナミックなサウンドによって終結し、一気かせいに「パーティ」のシーンに突入する。ギャラリーの部屋から音と光の洪水が溢れ出る。窓から海軍の帽子が放られ、放物線を描いて舞台の上に落下する。中年の男たちの歓声が響く。

観客の目と耳がギャラリーに集中している間に、舞台の転換が行われ、ホリーの部屋になる。ギャラリーのダンス・ナンバーが一瞬にして舞台に移行すると、眼前にホリーと彼女の友人たちのダンスが展開されている。

ホリーの部屋。パーティのシーン。

数個の椅子と、ソファアート、木造と大理石のテーブルが2個。いろいろなプレゼントがテーブルの上や床の上に散乱している。一方の壁には大学生の部屋を連想させる書棚があり、いろいろな種類の本が漫然と並べられている。中央の壁にホリーと少年が馬の手綱を持った写真が額に入って飾られている。少年はホリーの弟のフレッドである。

夜の八時。

ホリーと彼女の友人たち、わたし、ラストイ、ホセ、O・J・パーマン、海軍将校、空軍将校たちが踊っている。

### M! 3「ダンス・アット・パーティー」

ホリーのパーティーでいつも踊られるバカバカしいが、陽気で、明るいダンスである。カポーターイはこう書いている、「酔眼もうろうたるオーストラリアの陽気な陸軍将校たちは歌いながら、スピン・ダンスをホリーと一緒に踊っていた」と。

このように酔客を踊りに参加させ、たのしませるホリーのショウ・ダンスは今が最中である。まったく騒がしく、楽しい。

ラストイ

私はラザフォード・トロラーです。ラストイと呼んで下さい。

私は五才の時に両親を亡くしました。両親は巨大な遺産を私に残しました。私は三回結婚しました。そして三回離婚しました。(ホリーと踊りながら語る) 私はホリーを愛しています。だれよりもホリーを深く愛しています。ホリー、私はきつと君を幸せにします。

ホリー

ありがとう、ラストイ。このキスはあたしからのお返しよ。

さあ、みなさん、輪になってお座りなさい。

ところでラストイ、すまないけどパーマンさんのグラスにもあなたの愛を分けてあげてちょうだい。

男たち

それからすまないけどラストイ、音楽が終わったわ。みなさんに愛の音楽を分けてあげてちょうだい。  
さあ、みなさん、もう一度乾杯しましょう。

ホリーののために、乾杯。

愛のために、乾杯。

全員、幼稚園の児童のように行儀よく車座になる。先生が子供たちに語って聞かせるかのように歌う。彼女にはパフォーマンスの精神が横溢している。彼女の歌やダンスやスピーチの良さは後転性のソフィステイケーションによって味付けされているが、同時に野生の強さに裏打ちされたエネルギーに満ちており、適度に上品であり、適度に下品である。すなわち、酔客には無限に魅力的にうつるのである。

次の曲は半ば。パントマイムを織り込んだダンスで演じられる。

#### M. 4 「船乗りと恋人」

ホリーと男声コーラス

キャプテンと無線係と甲板ふきとわたし

それから大砲係とその助手とで

マリアに惚れた

メアリーとリリーとジェーンに惚れた

スージーとキャシーとサリーとアグネスに惚れた

だれもケイトに見向きもしない

それもそうだよこの女

船乗り見れば「くたばりやがれ」

オイルとペンキの臭いが嫌だとぬかし

そのくせ洋服屋のにやけた男に

痒いところを搔かせるくせに

くたばれケイト

おれらは船乗り

くたばれケイト、とんでけケイト

ホリーはO Jを舞台中央に連れてくる。女優らしい演技と父親に甘える娘らしきが見える。

ホリー

紹介します、ミスター O J！偉大なハリウッドのプロデューサー、そしてまたわたしの旅のプロデューサー、O J・パーマンさんです。

パーマン

この子を最初に見つけたのは私です。その時この子は一五才でした。

ホリーは女優になるために生まれてきたのです。ホリーには教養と無知と謎がいつしよくたになっていきます。これこそ現在のアメリカ映画が求めている歌であり、詩で、文学で、美学であります。

ホリー

0 Jはマジッシャンです。あたしのようなスター・ダストを一瞬にしてスターに作り替えてしまうのです。

みなさんフレッドを紹介します。フレッドは文学者です。フレッドは天才です。顔を赤くすることないわ。天才だとあんたが言ったのではなく、このあたしが言ったのだから。0 J、フレッドをお金持ちにしてあげて。

ラストイ

ホリー、パーティを解散しようよ。もう我慢できない。僕は君と食事するのが楽しみでここへ来たのだよ。

ホリー

ラストイ、お行儀よくしてちょうだい。お行儀よくしないとみなさんが可愛がってくれません。ラストイ、わたしの友達に一杯もってきてくれない。この方と、この方と、この方に。

男たち

ホリーのために、いざほさん、このグラスを愛していることを味わうために

いざほさん、このグラスを

ギャラリーのドアが開いて、マダム・スパネラが現れる。彼女は四五歳前後で、立派な体格をしている。今は肥満したために、顔の魅力は

## M! 5 「豚紳士の歌」

マダム

紳士のみなさん

空軍の将校のみなさん

(イエス・サー)

海軍の将校のみなさん

(アイ・アイ・サー)

アーバックさん

パーマンさん

ラストイーさん

バスターさん

静かに、紳士的に、ふるまって下さい

肉体の偉大なる存在の陰にかすんでしまっているが、かつては大変美しい女性であったことが伺われる。しゃがれた、しかし魅力的なコロシアチューラ・ソプラの声をしている。彼女は理性と自己抑制を見事に体現している。

男たち

ここは上品なアパートメントです

わたしたちには休養と安静が必要なんです

同感です。その通り。静粛に。静粛に

(無声音で歌い始めるが、最後に大合唱になる)

休養と安静のために

いざほさん、このグラス

愛していることを味わうために

いざほさん、このグラスを

(以下の言葉は、重唱または重なった言葉として語られる)

愛して悩んで、ただ待っただけ／もしもし、**O J**だ。トライ・アウトは明日の9時、遅れるな  
 ／キルロイ・イズ・ヒア、キルロイ・イズ・ヒア、正義は前進しなければならない／リーダー  
 は頭脳さ、頭脳のない戦争は冬のモスクワで敗北したではないか／愛しているなら、待ってち  
 ようだい、女の子は目を閉じて愛されているという実感を楽しみたいの／ニャーオ、離してく  
 れよ、ニャーオ／フリー・マントルの打率は、325、ジョン。ケーリーの打率は、322／  
 文学は愛です／映画はパーセ ンテージだ／戦争こそパーセンテージだ／パーセンテージは  
 不条理だ／不条理は愛さ／愛のシンボルはティファニー／ニャーオ

マダム

うるさい、モズ、アヒル、七面鳥、蛙、豚紳士！

(淑女にすばやく変身して)

君知るや佳き日のアメリカ

ホイットマンが詩をかたり

オパーリン音楽院が誕生したころ

ホリーさん、この馬鹿騒ぎをすぐ止めさせて下さい

ここはあなたがお仕事をする場所ではありません

春をひさぐのは、昔から、ネオンがまたたく色街か橋のたもと

いざゆかん

ホリー

弟の大好物

ピーナッツ・バターを買うために

ベトナムの戦士フレッド二等兵への慰問品

ピーナッツ・バターを買うために

男たち

いざほさん、このグラス、ピーナッツ・バターとマダムのために

いざほさん、このグラス、豚紳士のために



(ブウブウ)

いざほさん、このグラス、蛙紳士のために

(ケロケロケロロロリ)

いざほさん、このグラスを

新しい友達のために

この騒ぎの最中に、マツグ・ワイルドウッドが登場する。マツグは一七五センチはある大きな女性で、非常に美しいプロポーションと容貌をしている。

## 「M! 5A」ショウ・ビジネスの歌」

マツグ

あたし、マツグ・ワイルドウッドよ。職業はモデル

優れたデザインが優れた肉体を覆い

リズムと光のなかを進む

ローティーンにはヘレニズム風の衣装

高校生にはエリザベツサンの衣装

若いOLにはアールヌーボーの衣装

ミセスには安土桃山の衣装

作品番号四五番「星空」

作品番号 五十五番「バージン・スノウ」

「星空」は黒いフアブリックにダイヤのギャラクシー

「バージン・スノウ」は白のスイミング・スーツ

これらをマダムにおすすめします

官能的なブラジルの音楽になる。ホセとホリーが踊る。

## M! 5B」ブラジル大使

ホセとマツグ

今晚は、ブラジル大使

こんばんわ、おじょうさん

お国のことを話して下さい

奥さんのこと、お子さんのこと、革命のこと

僕は二つの愛のために生きる

祖国への愛に生き

そして君への愛に

政治家はみんなお口が上手

信じてしまいそう

君は人間が仕事に追われる都会が好きかい

牛や馬が風と一緒に走る草原が好きかい

それともジャングルが好きかい

ブラジルには愛をささやく舞台が残っている

あたしはその舞台で大使と競演したいわ

再び「ダンス・アット・パーティー」になる。ダンスの途中で新聞売りの声が聞こえる。

## M.6「ダンス・アット・パーティー」

新聞売り

ベトナム戦線、激化

海兵隊の精鋭、ダナンに上陸

ホーチーミンは声明を発表

ニクソン大統領領調印

ジャイアンツ惜敗



ベトナム戦線 エスカレート

一瞬、ダンスが止まる。次の瞬間、軍人たちがマーチ風に踊り始める。パーティーは以前のエネルギーを盛り返す。  
照明が溶暗する。

## 「東70丁目のアパートの階段」

ギャラリーの窓が観客の目に舞台装置として浮かび上がる。ホリーの窓を除いて、どの窓も明りが消えている。

舞台下手に、酒に酔った男シッド・アーバックが登場する。上手のホリーの窓に向かって怒鳴る。

シッド

（あたかもロミオがジュリエットに語りかけかけるように）あれは私の意中の人ジュリエットだ、おお、あれは恋人。おお、彼女に、この心が通じてほしい！ あ、話している、いや、何も言っていない。しかしそれはどうでもいい。彼女の目がものを言っている。私はそれに答えよう。

なんと美しい光が、あの窓からもれてくることか。あちらは東で、彼女は太陽なのだ。昇れ、美しい太陽、そして嫉妬深い月の光を消せ！

見よ、両方の手で胸を抱えている。ああ、あの手にはめた手袋になって、あの乳房に触れたいものだ。

ホリー、ホリー、きみ、ちよつと待って。それはつめたいよ。僕は酔っているけど、素面なんだ。

ホーリー、ホーリー！

手に持っている風船が破裂する。あちこちの窓の明りが一斉につく。

ホリー (窓を開けて) シッド、どうしたの、ハリー？

シッド ハリーはもう一人のおとこだよ。僕はシッドだ、シッド・アーバックだ。君は僕を愛しているのだろう。あなたが好きよ。でも、今晚はこれでお別れね。

シッド ホリー、君、僕を中にいれて、コーヒーの一杯位（一）馳走してくれてもいいじゃないか。だって君はこの僕が好きなのだろう。僕はだれにだって好かれる男なのだ。第一、今日だって、初めて会った君の五人の友達のために、勘定を払ってやったじゃないか。君が僕に心引かれるのは当然だよ。ねえ、きみ、僕が好きなのだろう。

ホリー アーバックさん、今度、女の子がお化粧室に入るお金がほしいと言ったら、あたしの忠告を聞いて、コインでなく、小切手を渡すことね。

シッド ホリー、ねえ、きみ、ホリー。

マダム・スパネラがテラスに現れる。わたしも目につかないようにテラスに出る。スパネラの歌の途中で赤毛のネコが私の腕の中に逃げ込んでくる。

## M. F.「サロメの歌」

マダム・スパネラ

(『サロメ』のサロメの歌で歌う)

わたしにヨカーナンの首をくださいまし

わたしにアーバックの首をくださいまし

ああ、あたしはどうとうお前の口に口づけしたよ。

おまえの唇はにがい味がする

シッド

ちえ、ついてないよ、あんなお袋さんがついているなんて。ホリー、お袋と一緒にだなんて一言も言わなかったじゃないか。

マダム・スパネラ

(エロドの歌で歌う)

かがり火を消せ

おれは何も見たくないのだ

月を隠せ

星を隠せ

おれはそら恐ろしくなってきた

殺せ、あの女を



男はあたふたと逃げだして行く。



## 「わたしの部屋」

東七〇丁目のアパートの中のわたしの部屋。売れない作家の部屋は決して簡素である。机とその上に乗っているタイプライターと金属製の電気スタンド。本箱には安いペーパーバッグが乱雑におかれている。部屋の隅にスチール性のベッドが一台ある。

M! 8「ホリーに関して疑問に思うこと」

わたし

ホリーに関して疑問に思うこと

彼女の職業が分からない

いつも父親みたいな男に囲まれて

彼らに愛されて

それでいて自由な女の子

彼女はたった一人の弟の名前を僕にくれて

僕をフレッドと呼ぶ

君、ねえ、赤毛のトラ猫君

## 赤毛のトラ猫

君はホリーの秘密をしってるだろう  
こっそり僕に教えてくれないか

僕のように、ホリーも孤児だった

好きなミュージカルは『オクラホマ!』

タバコを吸います

カテージ・チーズとメルバー・トーストを

毎日食べています

あなたがシムノンの推理小説をよく読むように

彼女は旅行案内と星占いのパンフレットを読みます

ホリーが愛しているのは広い世界に二人だけ

一人は弟のフレッド、も一人はこの僕さ

フレッドはいま、ベトナムで戦っています

彼の好物はピーナツバター

だからホリーはせつせとピーナツバターを戦地の弟に送ります

わたし

ねえ、赤毛のトラ猫君

ホリーが僕を愛しているか教えてくれないか

どうやったら僕の小説が売れるか教えてくれないか

眠りたくもなし

死にたくもなし

ただ旅して行きたいだけ

大空の牧場を通って

アパートの下の街路から同じメロディーが聞こえてくる。ゴライトリーが歌いながら登場する。

ゴライトリー

眠りたくもなし

死にたくもなし

ただ旅して行きたいだけ

大空の牧場を通って

わたしとゴライトリーが顔を見合わせる。再びホリーのテーマを二人して歌う。

わたし

失礼ですが、あなたは。

ゴライトリー

ゴライトリーと申します。この写真の女性を捜しているのです。これが私で、そしてこれがあれなので。

わたし

それからここにいるのが、あれの弟のフレッドなのですが。

フレッド？ この女性は、ホリーじゃないか。じゃ、あなたはホリーのお父さんなのですね。

照明、ブラック・アウトする。

## 「ジョーのバー」

「プロローグ」と舞台装置は同じ。

時刻は午後一時。

わたし、ジョー、ホリーとゴライトリートの四人。

### Mi「ジョーの妻」

獣医ゴライトリート

私はテキサスの獣医

ゴライトリートと申しますだ

馬や犬の病気をみていますだ

ホリーの名前はルラミー・バーンズ

と結婚してルラミー・ゴライトリートに変わりました

ところが、ある日、ひよっこり蒸発してしまっただ

おらは、五年間、妻を捜し続けました

ほんただだ、ルラミー、おら捜し続けただ

この子はテキサスの田舎から

逃げだしてきた

人妻でやす、おらの幼妻でやす

わたしとジヨー

まさか。間違いだろう、ホリー。

ホリー

ほんと。

わたしとジヨー

信じられない。

ホリー

かもね。でも、みんなほんとのこと。

ジヨー

(ピアノのところへ移動する。即興風にピアノを弾いて歌う)

ホリー、愛してるから忠告するよ

帰りなさい、テキサスへ

君の旅は終着駅へ着いたのさ

ホリー

とんでもない

さようなら、私のいい人

私はあるなガランとした

とりとめもない

雷が鳴って

何もかも消しとんでしまうような田舎に

住む気はないの

さようなら、私のいい人

ゴライトリー

ルラミー、ルラミー

そんなに痩せてしまって

眼のまわりにすっかり隅が出来てしまって

さあ、帰ろう

なつかしのテキサスへ

ホリー、帰りなさい、テキサスへ

もし、いつか、鳥籠の口が開いた時には

いつでも、いつでも、ジョーの店に

戻っておいで

僕はいつでも君のために祈っているよ

## M10「メイン・テーマ」

ホリー

さようなら、わたしのいい人

愛しているなら忘れてちょうだい

わたしが好きなのはテキサスではなくニューヨーク

さようなら、いとしい人

嘘をつくのはよくないことだわ

だからほんとのことを話します

あたしとあなたの哲学が違うのです

ニューヨークは色と光と感覚の街

もし、気が滅入ったら

ティファニーへ行くわ

ティファニーはリッチ・アンド・フエイマスのシンボル

ティファニーには高価な静けさと

高価な皮の臭いが満ちてます

愛は商品のように値段がついています



女が変身すると言うならば

ホリーは変身しました

もう昔の少女には帰れません

心は少女のように幼くても

感覚はもう女に成長したのです

あたしの体からはテキサスの香りが消えてしまいました

さよならを言わせてちょうだい

さようならを言ってちょうだい

ホリーの告白を聞いて、ゴライトリーは大きなこぶしで目をこすって泣く。彼にはホリーの言う意味が分からない。ホリーの目が不確定な未来に向けられている。キラキラしている。

照明、暗転する。

「わたしの部屋」

舞台装置は前のシーンと同じ。ただ稚拙だが、明らかにホリーの肖像画と分かる油絵が壁にかかっている。まだ製作途中である。私がベッドの中でバーボンを飲みながら、ホリーの絵に向かって語り掛けている。

Mリー「おやすみ」

わたし

(ロミオがジュリエットに語りかけかけるように)

あれは私の意中の人、おお、恋人だ

彼女に、この心が通じてほしい！

あ、話している、いや、何も言っていない

しかしそれはどうでもいい

彼女の目がものを言っている

私はそれに答えよう

なんと美しい光が、あの窓からもれてくることか

あちらは東で、彼女は太陽なのだ

昇れ、美しい太陽

そして嫉妬深い月の光を消せ！

見よ、あの人は手に頬をもたせかけている

ああ、あの手にはめた手袋になって

あの頬に触れたいものだ

わたしのジュリエット、ホーリー

窓をコツコツ叩く音がする。バルコニーの外にホーリーが立っている。部屋の外と内でパントマイムが演じられる。

わたし

(窓を開けて) どうしたのだ、こんな時間に。

ホーリー

とても嫌な男が部屋に入り込んで帰ってくれないの。酔っていない時はとてもいい人なのだけど、いったんお酒がまわると、まったく動物みたいになっちゃうのよ。あたしは毛虫大嫌いなもの。それ以上に嫌いなものはみつく男なの。(ワンピースの肩をはずして傷跡をみせようとする。わたしはドギマギしておしとどめようとする) あんたをびっくりさせたのだったら、ごめんなさいね。でも、あのけだものがどうして我慢出来なかったものだから、お風呂場の窓から飛び出してきたのよ。あの人、たぶんあたしがシャワーを浴びていると思っっているわ。そのうちに疲れて眠ってしまうでしょう。お夕飯前に、マティニー八杯と浴槽一杯分のワインを飲んだのですもの。

ごめんなさいね。あたしもずいぶんずうずうしいと思いますわ。こんな風にあんたのところに押し入るなんて。どうしてあたしに「出て行け」っておっしゃらないの。（わたしの気持ちをすばやく読んでいる）非常階段はとても冷たいの。ところがあんたときたら、とてもぬくぬくと気持ち良さそうにベッドのなかでしょう。

寒い晩、あたしを抱きつかせて寝かせてくれたのは、弟のフレッドだけだったわ。他の男はみんな熊のように抱きついてきたわ。ねえ、あんたのこと、フレッドって呼んでいい。

わたし  
それは、かまいません。

ホリー  
きっとあたしのことを厚かましい女だと思っているでしょう？ 精神構造がおかしいと思っているでしょう？

わたし  
いいえ、そうは……。

ホリー  
いいえ、そうよ。普通、誰だってそう思うものよ。

ホリー  
あんた、ここで何しての？

わたし  
ものを書いていますよ。

ホリー  
あたし作家って老人だとばかり思っていたわ。もちろん偉大なサロイアンは老人じゃないわね。あるパーティーであの方にお会いしたけど、青年みたいだったわ。ねえ、ヘミングウェイは老人なの。

わたし  
さあ、四十、いや四十二、三かな。

ホリー  
そんなら悪くはないわ。あたし四十二前の男の人に魅力を感じないの。友達はあたしが父親コンプレックスを持っているからだって。年をとった男の人が好きになるように自分を訓練しただけなの

に。

サマーセット・モームはいくつ。

さあ。六十代前半でしょう。

ホリー 彼も悪くはないわね。あたしこれまで作家と寝たことないの。いいえ、ちよつと、待つて。あの人、ベニー・シャックレット知ってる。

わたし 知りません。

ホリー それはおかしいわ。あの人、ラジオの台本たくさん書いてるのに。じゃ、ボーン・ローレンスは。誰ですか、その人は。

ホリー コンチネンタル・ケーブルビジョンの司会者で、週刊誌に「スープは体にいい食べ物です」というエッセイを書いているの。いったいあなたは本当の作家なの。

わたし 本当という言葉の意味によっては「イエス」であり、「ノー」とも言えます。どこの出版社があんたの小説を買いにくるの。

わたし まだどこも来ない。

ホリー じゃ、あたしが応援してあげる。あたし、弱い人や困っている人を助けてあげるの大好きなの。ところで明日何曜日。

わたし 正確にはもう今日になってるけど、今日は木曜日です。

ホリー 大変。木曜日には、あたし、八時四五分の汽車でシングシング刑務所へ行かないと。  
わたし シングシング刑務所だつて？

ホリー　　そう。ホリーのボランティア活動なの。一回二〇〇ドルの人助けよ。

**M12「シング・シング刑務所」**

ホリーとコーラス

八時四五分の汽車をつかまえて

シングシング刑務所に

一〇時までに着かなけりや

シングシングで

サリー・トマトおじさんにお会いする

サリーはとても信心深く

修道士みたいな方

あたしのために

毎晩祈ってくれる

シングシングの訪問者は

とても優しくあつたかいの

だからみんな男のために

レデイのように着飾るの

シングシングに向かう汽車は

いつも女と子どもであふれてる

うちのせがれは大物でな

ムシヨの中でも特別扱い

僕のパーは早撃ちサムっていうの

知ってる

うちの人は黒人解放運動のリーダー

うちの人の夢はアメリカに

黒人大統領を誕生させること

シングシングの訪問者は

とてもかわいくいじらしい

着飾った母さんに手を引かれた

子どもの靴は

ガラスのように光ってる

シングシングの面会場は

みんな幸せそうに笑ってる

パパは子どもにキスをして

恋人たちは見つめ合う

シングシングの帰りの汽車は

みんな黙ってうつむいている

みんなうつろな目をしてる

レールのゴトゴトいう音だけが

やけに高く響くのよ

安い香水と汗の臭いが

絶望列車にあふれてる

わたし

君がシングシング刑務所を訪問して、孤独な老人を慰めると彼の弁護士が一〇〇〇ドル支払う  
というはなしはちよっとおかしいな。それだけじゃない、囚人との面会をだれにも許すわけがないだろ  
う

ホリー

わたし

そうよ。だからあたしはあの人の姪ということになっているの。  
身元をこまかしていることが発覚したら、そりやおおごとだよ。



ホリー  
心配してくれてありがとう。でもなんてことないわよ。あたしはただ面会して、サリーか

ら天気予報を聞いて、それを彼の弁護士に伝えるだけの役ですもの。

わたし  
天気予報をわざわざ刑務所に行くのは変じゃないか。

ホリー  
あら、そう。あたし別にクレムリンやホワイト・ハウスへ人生相談に行くわけじゃないのよ。

もうこの話はおしまい。よろしかったら、あたしをちよつと休ませてくれない。おやすみなさい、フレッド。あなた優しい人ね。

ホリーはわたしのベッドにスルスルと入り込み、目をつむる。

彼女はすぐ眠りにおちいる。

彼女のテーマの曲が流れる。照明ゆつくりと溶暗する。

## 「ホリーの部屋」

わたしだけが一人舞台中央にいる。彼は観客に語りかける。語りに合わせて舞台装置が  
転換される。

わたし

ホリーの「真夜中の訪問」があつてからの一ヶ月に起こった出来事を簡単に報告しておきます。  
マッグが、ホリーと共同生活を始めました。マッグがホリーの部屋に引っ越して来たのです。ご覧下  
さい。ホリーの部屋はマッグの趣味に作り替えられてしまいました。

ところでわたしの小説はいっこうに出版社の関心を引くことが出来ませんでした。活字になったのは地  
方大学の文学部の雑誌に掲載された短編小説だけでしたが、ホリーからは「女性に興味を失った女性」  
の話は売れっこないとさんざんに叩かれてしまいました。

さて、女性二人の生活は、表面上、穏やかに見えました。ホリーは富豪のラスティと付き合い、マッグ  
はブラジル大使館員ホセと付き合い、仲のよい二組のカップル同士が交際しているかのようにでした。し  
かしホリーとマッグの「リッチ・アンド・フェイマス」の欲求はある日突然破綻をきたしました。

前場からまったく部屋の雰囲気を変化している。部屋はすっかり女性のものらしくなり、

ロココ風の大きな鏡がまばゆく部屋の風景を映し出している。また絵画や写真が壁に飾られ、オブストラクトな彫刻が部屋の隅に置かれている。テーブルの上にはマグの恋人ホセ・イバラ・ハエガールの写真と、ホリーの恋人ラストイーの写真が乗っている。ホリーとマグが激しく口論しながら部屋に入ってくる。

マグ あんたはチョツカイをだしたのよ、いいえ誘惑したのよ

ホリー していないってば。

マグ 嘘よ。ホセはあなたに誘惑されたのよ。

ホリー じゃ、勝手にそう思っているがいいわ。

マグ どうして本当のこと言ってくれないの。

ホリー マグ、あなたは友人を信用できないの。

マグ 信用するわ、あなたがそんなに魅力的でなければ。

ホリー マグ、あなたのそういう性質、あたし好きじゃないわ。疑り深くて、弱虫で、涙もろくて。愛が、男と女の愛がすべてみたいな哲学をもった人。

マグ じゃ、なぜ一緒に住もうって誘ったの。

ホリー それはあなたが男のようにあつさりしているから、あたしのようにだらしない女にはピツタシの女だと思ったから。それに二人で住めば部屋代の節約にもなるから。悪いけど、ホセは私の好みじゃないの。

マグ うそ。

ホリー ほら、また、疑う。

マグ だって……。ねえ、お願い、ホセには絶対手を出さないでね。あたしはホセを愛しているの。

ホリー マグはホセを愛している、愛しているからけなげにも靴下を一〇足、セーターを2枚編んであげたのだよね。

マグ 彼の財産と社会的地位と名誉ならあたし満足出来るから、結婚してモデルから足を洗ってもいいと考えているの。でも、ホリー、あなたがうらやましいわ。あなたには億万長者のラスティーがいるのだから。

ホリー ところでマグ、ホセはベッドの中で食いつくの。

マグ そんないやらしい話、よしましろう

ホリー いいじゃない、ねえ、教えて。

マグ ただ、笑うだけよ。

ホリー そう。ラスティーはベッドの中で小犬のように嗅ぎまわるのよね。あなたと一緒にいる時はベッドの中で彼はどうするのかしら。

マグ ホリー。

ホリー 心配しないで、あたしやきもち焼いているわけじゃないから。あたしが興味をもつのはどっちが先に手をだしたかってこと。あなた、それともラスティーかしら。あなただとしたら、ラスティーのドナルド・ダックのようなお尻にほれたのかしら、それともティファニーで朝食を無理強いできる彼のお金にかしら。マグ、あなた様は何人兄弟なの。御両親はご健在なの。



マグ

なぜ。六人兄弟で、両親はテキサスにいるわ。

ホリー

そう、だからなのね、あなたのリッチ・アンド・フェイマスの願望がゆがんでいるのは。リスのようにため込んでおかないと安心できないってわけ。(悠然と、マグに平手打ちを食わせる。マグは逃げるように部屋を飛び出して行く)

ミス・マーガレット・サッチャー・フィッツヒュー・ワイルドウッド、嘘つきの天才！

## 「セント・パトリック寺院」

中央に大理石作りのテーブルがある。その上に六本のローソクがともっている。背後には縦の線が流れるように美しいアーチをかかげた祭壇が見える。紫の色を基調にしたステンドグラスからの照明が別の世界を再現している。

鐘の音。

セルゲイ・プロコイエフの『夏の夜の夢』からの結婚行進曲が流れる。

花嫁マグと花婿ラスティーが登場する。観客席と舞台がそのままセント・パトリック寺院（またはウォール街の中心に位置するトリニティー教会）の礼拝堂に見立てられている。

少年聖歌隊のコーラスが始まると、挙式が行われる。

### M. 13 「トリニティー教会・レセプション」

このシーンはおおむねダンスとパントマイムで処理される。参列者たちはわたしとジューとO・J・を除けばスクリプトに特定されている登場人物ではないが、それぞれがラスティーまたはマ

ツグの友人知人としての人格を具えた人物である。

司祭

汝、ラザフォード・ラスティはこの女、マーガレット・サッチャー・フィッツヒュー・ワイルドウッドを妻として永久に愛しますか。

ラスティ

はい。

司祭

汝、マーガレット・サッチャー・フィッツヒュー・ワイルドウッドはこの男、ラザフォード・ラスティを夫として永久に愛しますか。

マグ

はい。

華やかなバロック風の音楽になる。

教会が一瞬にしてホテルのロビーに変化する。そして盛大なエディング・レセプションが展開される。それらはダンスとパントマイムで表現される。

セレモニーがクライマックスを迎えた時、マダム・サファイア・スパネラが息を切らして飛び込んでくる。コロラチュエラの声がロビーの空間を庄する。

マダム・スパネラ

バスター、ジョー、バスター 一緒にきて、急いで。ホリーが誰かを殺そうとしている！

や誰かがあの女を殺そうとしているの！

人々

(わたしとジョーと他の人たち) シーッ！

マダム・スパネラ 人間が殺されかかっているのよ！ 人殺し、人殺し、殺人事件よ！

人々 わおウ！

マダム・スパネラ 一緒に来てちょうだい、外でタクシーが待っているの！

(司祭をつかまえて) あんた、警察を呼んで、いいわね！

司祭 はい、マダム！

わたしとジョーがマダム・スパネラの後を追ってロビーを飛び出して行く。コップの割れる音や女性の悲鳴、続いて車の激しいブレーキの音とクラクションが一瞬洪水のように響きわたる。人々の群れはそのまま観客席の中を通過して、レキシントン通りに入り、ホリーとわたしのアパートメントの入口に到着する。

舞台には一枚の大きなハーファミラーがついたてのように立っている。ハーファミラーの前がアパートのホール(階段)であり、背後がホリーの部屋である。人々の群れはいたてによって前進を阻まれる。



## 「ホリーの部屋」

ハーフミラーの背後に照明が溶明し、ベッドに横たわるホリーと彼女の脈を見ている医師の姿が浮かび上がる。ホセが心配そうに、反対側の枕元に座り込み、彼女の手をとっている。

ホセ　ホリー、あなたの悲しみを僕にも分けて下さい。ホリー、お願いします。

医者　静かに。おじょうさんはお疲れになっています。なによりも休息が必要です。さあ、静かに眠らせて上げなさい。

ホセ　そうです。ホリーは休息が必要です。

医者　あなた、お願いですから、しばらく患者をわたしに任せといて下さいませんか。

ホセ　はい。

ホセは電報を持ったまま、ハーフミラーの前に現れる。O・J が電報を受け取って黙読する

ホセ　みなさん、悲しみには休息が必要です。

O・J・

「フレッド ベトナムニテセンシノシラセアリ オマエノナゲキヲオモイ カゾクイチドウヒタンノナ  
ミダニクレル イサイフミ ゴライトリー」

医者

(注射を終わらせて) ほーらね、ちつとも痛くなかったでしょう。

次のホリーのモノログの間に前舞台の照明は徐々に溶暗していく。人々は

静かに退場する。ホリーのみ残り、切々と弟の死を悼む。

ホリー

寒い夜 抱きつかせてくれるのは、それこそこの世で、あの子ひとりだったわ。フレッド、フレッド、お姉さんがメキシコにひとつ場所を見つけておいたのに。馬のたくさんいる、海のそばの。一緒に馬に乗って、海と空に抱かれた牧場を駆けるのを夢みていたのに。

ホリーが黒いベールを被り、マダム・スパネラに手を引かれて進み出る。舞台はいつしか小さな、古風な教会を背景とした墓地に転換している。雨がシトシトと降っている。会葬者は皆黒いコウモリ傘をさし、しずしずと集まって来る。黒一色の舞台がはじめて展開される。

## 「小さな墓地」

## M 14 「旅立ち」

おだやかに、静かに

彼が微笑んで

目をやさしく開けているのが

みなさんには見えないの

次第に明るく

輝きをまして

星の光につつまれながら

空高く昇って行くのが

みなさんには見えないの

彼の心は

おおしく、ちはやぶり

豊かに気高く

そして唇からは

楽しくおだやかに

こころよい息が

静かにかよっているのに

みなさん、そうでしょう

感じられるでしょう

見えるでしょう

わたしだけにその調べが

聞こえるのかしら

静かに

喜びを訴え

やさしく慰めるように

白馬はいななき

星くずをけちらして

天空を高く舞う

みまかつて

大空の牧場をかける

ゆつくりと照明が溶暗する。わたしとジョーだけが残る。わたしが前に出る。

わたし

ジョー、ホリーはもう帰りましたか。(ジョーは黙ってうなずく) 内輪話になりますが、才能のない脚本家は弟の死を知ってホリーが狂乱するシーンを描きました。ジョーは孤児として育てられたホリーとフレッドのような姉弟にとって、どちらか一方の死はどんなに痛ましいか、敢えて舞台でお見せするに忍びないと申しました。そこでわたしはそのシーンをカットいたしました。これでよかったです。みなさん、これで第一部の終わりです。そうそう、脚本家の名譽のために申し上げておきますが、普通こんな暗いシーンの後で休憩をとりません。なかなか大胆な手法と言っていいでしょう。それでは後ほど。

休憩の照明になる。わたしとジョーが退場する。

## 「ニューヨーク港」

イースト・リバーにまたがるブルックリン・ブリッジのたもと。

右手にスタテン・アイランドが、左手にマンハッタン・ブリッジが見える。正面には大西洋が広がり、遠くに船が点在する。ホリーとわたし。

ホリー　バスター、あたしホセと一緒にブラジルへ行くの。リオへ引越すするの。

バスター　まさか！ 冗談だろう、ホリー？

ホリー　どうしておめでとうって言ってくれないのよ。まあ、いいわ。

バスター　よくないよ。ホセは結婚すると約束した？

ホリー　ううん。まだ求婚もされてないし、婚約もしてないし、エンゲージ・リングももらってないわ。

でも、ホセはあたしが妊娠しているの、ちゃんと知っているわ。もう六週間になるのよ。あたしが妊娠したからって驚くことないでしょう。

あたし九人くらい子どもがほしいと思っているの。九人のうち、一人くらいは色の黒い子が生まれて来るかもしれないわね。だってホセにもちよつと黒かったところがあるでしょ。

そこがかえって魅力だわ。パッチリした緑色の美しい目をした黒ン坊の赤ちゃん。きっとかわいいでし

ようね。

バスター

ホリー、君がミキサーや鍋や料理の本を買い、家事に熱中したし、ポルトガル語の勉強を一生懸命にしてきたことは知っている。しかし彼には妻や子どもがいる。君一人では子どもを育てられないよ。

ホリー

いまから何年も何年もたった時、あの船のどれかに乗って、あたしは九人のブラジルの子どもを連れてニューヨークへ帰ってくると思うの。だってあたしの子どもたちにも、このニューヨークを見せてやらなきゃならないもん。

あたし、ニューヨークが大好きなの。ニューヨークの道、街路樹、家だって、わたしのものじゃないけれど、ニューヨークはあたしのもという気がするの。この街はあたしの性にぴったり合っているのだから。

でもね、笑っちゃ駄目よ。ホセのために、あたしが処女だったらどんなによかったかとしみじみ思うの。あたしはいつも浮かれ騒いで、男を釣るようなまねばかりしていたけれど、恋人はたったの十一人きりよ。十一人の恋人でふしだらな女ってことになるかしら。ふしだらな女というのは、男と一緒に寝て小切手を現金にかえる時に、自分はその男を愛しているって口実を作る女よ。

ねえ、聞いて。ゴライトリーの場合もそうだけど、こんどのホセの場合は、それこそ、ほんとに甘い夢をぬきにした恋愛なのよ。

ホセはあたしの理想の男ではない。少し嘘をつく。世間体を気にする。一日に五〇回もお風呂に入る。男は少し臭いのが魅力じゃない。身なりをかまひすぎる。小心過ぎる。食事の時、音をたてる。それにホセが走る姿はみられない。来週の土曜日、あたしたちマイアミで飛行機を乗り換え、それから海

の上に出て、アンデス山脈の上を飛んで……。

なにもかも突然過ぎるよ。みんなにお別れの挨拶する暇もないじゃないか。

ホリー　　あたしが居なくなっただって、だれもなんとも思いやしないわ。あたしには友達なんて一人もいやしないもの。

わたし　　このぼくがいるよ。ホリー、きみに行かれちゃ困るのだ。ジョー・ベルだって同じさ。

いや、その他にもたくさんいるよ。あの気の毒なサリー・トマトだってそうじゃないか。

ホリー　　あたし、あのサリーっておじいさん好きよ。

わたし　　ほら、君が居なくなったら、みんなが悲しむのだよ。

ホリー　　一月前にシングシングへ行かなくてよくなったの。最後の面会の時にあたしがブラジルへ行くと、打ち明けたら、天使みたいに優しい言葉をかけてくれた、ほんとに心から。あたしがアメリカを去るのを喜んでくれた。そして五〇〇ドル送ってきてくれたわ。結婚祝いだといってね

わたし　　ホリー、ホセは君がゴライトリーという男性の人妻なのを承知の上かい。

ホリー　　ゴライトリーとの結婚は法律上まったく無効よ。あんた、もし、あたしの過去をだれかに話したら、あんたを逆さに吊り下げ、ソースでもぶっかけ、豚に食べさせてやるから！　バスター、わかってちょうだい！

あたしはあんたを信用しているわ。それから、心から、愛しているわ。

わたし　　ありがとう。僕は君が好きだ。だから今は友人と恋人と一緒に失うような心境なのだ。

ホリー　　しょうのないお馬鹿さんね。ねえ、二人で馬に乗って公園をぶらついてみない？　そうしましょう！



わたし

とんでもない。流産したらどうするのさ。

ホリー

なにも乗馬ぐらいでビクビクすることないの。子どもを絶対に生むつもりですからね！

さあ、行きましよう

## 「ニューヨーク港」その2

黒塗の車がホリーとわたしを取り囲む。車から男と女の刑事が下りてくる。逮捕状をホリーに見せる。

女刑事　ホリー・ゴライトリーさん。

ホリー　……。

女刑事　ホリー・ゴライトリーですね？

ホリー　お腹の赤ちゃんが目覚ますわよ。

女刑事　ホリー！

ホリー　そんながさがさした手であたしの肩に触らないで！

女刑事はカツとなつて、ホリーの横面を激しくひっぱたく。ホリー地面にたたきつけられる。

わたし

ホリー、ホリー。大丈夫か。君は何ということをするのだ。

男の刑事

ホリー・ゴライトリーさん、一緒にいらして下さい。112分署のパトリック・コナー刑事です。こちらはシェーラー・フェズネッティ刑事です。

わたし

いったい、サリーが何をしたと言っているのです？

コナー

あなたに関係ありません。

女刑事

もう一度、生意気な口をきいてごらん。その可愛い顔を金たわしで三日三晩、ゴシゴシ研いでやるからね。

わたし

サリーの友人です。事情を話してくれてもいいでしょう。

コナー

麻薬密売容疑です。さあ、そこをどいて下さい。

ホリーの手に手錠がかけられる。

舞台、溶暗する。

## 「報道・伝聞・中傷」

五重唱。ニュース・キャスタとコラムニスト、わたしとジョー、ラストイーとマグ、マダムと隣人、O・J・とゴライトリートのグループ。

### M15 「報道・伝聞・中傷」

報道

ハリウッドの花形女優

ニューヨーク社交界で評判の美人である

ホリー・ゴライトリー、二十歳が逮捕された

ホリー・ゴライトリー、二十歳、美貌の映画女優

キャバレー社交界の花形が逮捕された

地方検事局の発表によると

麻薬密輸業者サリーこと、サルバトーレ・トマトと

結託して国際的な麻薬密売組織を計画した

疑いがもたれている

サルバトーレ・トマトは政界への贈賄のかどで  
5年の刑を言い渡され

目下シング・シング刑務所に服役中である  
ニューヨーク地方検事局は言明を避けているが  
確かな筋によれば

ミス・ゴライトリーはトマトの姪をよそおって  
毎週木曜日にシング・シング刑務所を訪れ  
収監中のトマトと

彼の一の子分・

オシヨーネシーとの間の連絡係をつとめていた

マダム・スパネラと隣人

ついにきた

平和な生活が

わたしたちのアパートメントは

今日から、自由と理性を宣言します

性風俗と性道德の過激な改革に反対します  
性は職業の手段ではありません

## ラストティーとマグ

乱れた性は子どもたちの教育をむしろみまます

私たちが男性から見向きもされない人種だから

ホリーいじめをしていると

人は言うけれど

あんな商売女と、金のために寝る女と

一緒にされることに抗議します

私たちは高いヒューマニズムと

モラルと知性をもった女性です

私たちはホリーと何の関係もありませんわ

ラストティーとホリーの関係

それは交通事故みたいなものよ

あたしとホリーの関係

それは人生の待合室でたまたま一緒だったみたいなものよ

あんたたちは恐喝しようというのですか

あんな、クズみたいな奴、有料公衆便所みたいな奴

あんな女とあたしたちをかかわり合いにしようなんて奴がいたら

告訴してやるからね

ホリーという女は

さかりのついた牝犬さ

麻薬の常習者で

わたしたち夫婦は非常に苦勞したの

あの女には刑務所が一番似合いの場所

主人もあたしもいっさい無関係です

あえてこの問題に首をつこまれるなら

告訴を覚悟で、どうぞ

○・J・とゴライトリー

ルラミー、ルラミー、いとしいルラミー

今でもわしはお前を待っている

大地とトウモロコシ畑と馬のテキサス

そこでわしは待っている

わたしからニューヨークで一番の弁護士を頼んだ

彼はきつとホリーを救ってくれる

費用はいっさいわたしが払う

だが、わしの名前だけは表に出さないでくれ

とにかく一〇〇〇〇ドルの保釈金さえ払えば

今夜にも釈放される

ルラミー、ルラミー、恋しいルラミー

お前はどことが嫌いなのだ

こんなにきれいなテキサスを

わしは百姓だ、土と家畜の臭いがしみついた男だが

心は、お前を思う心はジュエルのように光つとるぞ

ここだけの話だが、わしもあの子に

なにかと世話になっているからな

あの子は鳥かごや檻にはおさまらないジャジャ馬だ

ハリウッドが手を焼いた傑作だ

彼女の人生そのものがスクリーンなのさ

ルラミー、ルラミー、わしの宝物

体に気を付けな、悪い奴に気を付けな

リンゴも虫が食えば捨てられる

ルラミー、ルラミー、青いリンゴ

わたしとジヨー

シングシングへ毎週出かけていたのは事実だ

そんな馬鹿なことがあるものか



ホリーが麻薬事件に関係しているなんて

連絡係を知らず知らずにやらされていたのだろう

あの子は下手をすると一〇年、いやもっと長く

くらいこむかもしれない

そんな馬鹿なことがあるものか

ホリー、僕は君の友達だ

そう、ぼくらは君の友達だ

君の無実を祈っている

君の潔白を信じている

お腹の子どもを大事にしろ

君の命は

子供の命

君の命は

生まれてくる子どもの命

照明が溶暗する。

「手紙を書くホセ」

舞台にホセ一人がいる。苦悩するホセ。メキシコ国旗が舞台の背景画となっている。

M16 「わたしは卑怯者」

ホセ

わたしの可愛い人よ

わたしがあなたを愛してきたのは

あなたが他の人とちがったところがあったからです

けれども

あなたは別のひとであることを

知りました

わたしのような

信仰と経歴を持つ人間が

自分の妻として

迎える女性とは

まったく別の人であることを

知りました

わたしの絶望を

想像して下さい

あなたが今のような

辱めをうけたことを

こころから悲しんでいます

社会の非難を受けているあなたを

さらに非難する気にはなれません

だからあなたも

わたしを非難しないで下さい

わたしには母国ブラジルに妻子がいます

わたしには名声があります

わたしが卑怯者である理由は

そういう絆に縛られていることです

どうかわたしを忘れて下さい

美しい人よ

わたしはもうアメリカにいません

本国へ帰ります

わたしは神様に祈っています

あなたとあなたの子どもが

いつまでも幸せでいるように

どうか神よ、特別のお慈悲を授けたまえ

美しい人、ホリーと

やがて生まれくるみどり子に

## 「病院の一室」

照明が溶明する。

病院の一室、ホリーとわたしがいる。ホリーはベッドの上に座っている。彼女の枕元には私が持ってきた花だけがポツンと置かれている。

ホリー あなた、どう思う、ホセの手紙。

わたし 見方によっては、とつても正直そうだし、おまけにホロリとさせられるところもあるよ。

ホリー ホロリと。こんなとんちんかんな言い訳に。

わたし 自分を卑怯者だと認めているのだよ。君が彼の立場だったとすれば、同じようにしか言えなかったし、同じ様な行動をとったのではないかな。

ホリー わかったわよ。わたしは卑怯な男だと思うけど。また彼の事情もあるわけね。キング・コングみたいな超特大の食わせものという点では、ラストイと同じね。

ああ、まったく、くやしい、くやしいうつらないわ。あんなくだらない男を好きだったのよ、愛していたのよ。あんな男の赤ちゃんを生もうとしていたのよ。赤ちゃんを流産したのは残念だけど、かえって気持ちの踏ん切りついたわ。あたしを痛めつけた女刑事に感謝しなくちゃ。

ホリーがさめざめと泣く。わたしたちが始めて見るホリーの涙である。

M 17 「ムーン・リバー」

ホリー

なぜ、赤ちゃんは流産するのかしら

鳥の母親のように

卵になった赤ちゃんを

一度でいいから抱きたかった

わかりますか

赤ちゃん、赤ちゃん

わたしのお腹にもう一度戻っておいで

もうお腹の中がいやだと言うなら

ギリシャの神話にあるように

母のにもに宿りなさい

ああ、いったいあなたはだれなの

あたしから大事なものをみんな奪っていった人

弟を奪い、赤ちゃんを奪い、愛を奪った人

いいえ、それだけではないわ

あなたは私の気ままな人生を、自由を、若さを、奪い  
いつも邪魔をする

魔女でさえマクベスの邪魔をしなかったのに

あなたは私の風船に銀のピンを突き刺すの  
いったいあなたはだれなの

ねむりたくもなし

死にたくもなし

これからも旅を続けなければならないのかしら  
大空の牧場を、宇宙の牧場を

二つの魂

弟とみどりこの魂を抱えて

赤ちゃん、赤ちゃん

あなたを作った半分はこのあたし

あなたを作ったもう半分はホセ

ブラジルという国にいるわ

赤ちゃん

ホリー　赤ちゃん、お母さんは決意したわ。あなたのもう一つの祖国ブラジルへ行くことにする。

ニューヨークは晴れ後曇り。どしゃぶりの気配。あたしの人生の第一幕は悲劇的絶望のうちに幕が下りた。第二幕はセットを変えて、登場人物もブラジルの紳士たちに変えて、新しいドラマの幕を開けてみせるわ。

ところで今日、何曜日。

わたし　金曜日だよ。

ホリー　大変。こんなところでくすぶっている時間がないわ。土曜日のメキシカン・エアラインに乗る予定だったの。

わたし　流産したばかりの体で旅行するなんて無茶だよ。

ホリー　ねえ、お願い。大至急退院の手続きしてくれない。

わたし　今の君は刑事被告人として起訴されているのだけ。保釈中に高飛びしたら、二度とアメリカに戻って来られないのを知っているだろう。

ホリー　つかまりっこないわよ、あなたさえ黙っていてくれれば。

彼女はベッドを飛び出して支度を始める。その間に次々と私に指示をあたえる。





ホリー

今晚中にあたしの部屋から宝石とギターと歯ブラシを取ってきてくれない。それから洗濯物をいれる籠の底に隠してあるブランドを忘れないでね。すごい年代のものよ。明日空港で落ち合った時、お別れの乾杯をしましょう。(ホリーは着替えを持って病室を飛び出して行く。すぐ戻ってきて顔を出して) それからも一つ。猫も連れて来てちょうだい。絶対忘れないですよ！

と言って退場する。

照明が溶暗する。

## 「ニューヨーク空港」

空港のロビー。

午後。

左右の観客席の階段をダンスの人たちが下りて来る。ここでの登場人物は、メキシカン・エア・ラインの制服を着た整備員とスチュワーデス、パイロット、パッセンジャーたちである。

### M18 「メキシカン・エア・ライン」(ダンス・ナンバー)

メキシカン・エア・ラインの従業員は前景の道具を片付ける。奥舞台の転換が行われ、奥舞台中央から上手と下手に向かって登る階段舞台になる。階段のダンスは本舞台に移動する。ホリーとわたしが登場する。ホリーは赤毛のトラ猫を抱いている。私はホリーの荷物を両手にもっている。ホリーは猫に向かって歌う。

ホリ

あたしとおまえはある日

川のほとりで友達になった

あたしとおまえはある日出会って、ある日別れる

二人はほんとに自由

何も約束などしなかった

二人を縛るものなどなにもない

空港はおまえにとつては

自由の場所よ

ことによつたら外国からきた

エトランジェに、旅行中の仲間に会えるかも知れない

ゴミ箱もどつさりあるし、ネズミもどつさりいるし

空港はおまえにとつて

天国かもね

さあ、お行きつたら、お行きよ

さつさとお行きつたら

わたし

ホリーが、赤毛に互いに自由である、二人を縛るものがないと話して聞かせるのをみて、猫に同情せざるを得ませんでした。なぜなら猫は彼女を友人以上の存在として認めてしまっているからです。ホリーは彼の母であり、兄弟であり、恋人であり、子供でもあったに違いありません。

ホリー

さあ、お行きったら、お行きよ。バスター、可愛そうだけど追い払ってちょうだい。

わたし

さようなら、赤毛。みんながホリーと別れなければいけないのだ。いいか、悲しいのをみんなが堪えているのだ。さようなら、さあ、お行き！

わたしは赤毛を背後のフェンスの上に乗せる。赤毛はジットホリーを見つめている。

ホリーとわたし

さようなら、さあ、お行きったら！

赤毛を激しく追い払う。赤毛はヒラリと身をおどらせて消える。

空港のアナウンスが入る。

ホリーは二つのグラスにブランデーを注ぐ。二人は乾杯する。

アナウンス

Ladies and gentlemen,

Attention please.

MAILING From New York to ----

will take off ----

Thank you.

アナウンス

Mexican Airline, flight number 139  
within 15 minutes.

---

Ladies and gentlemen ----

ホリーが突然、絶叫する。今までの冷静さ、大人びた態度が嘘のように、純真な少女になっっている。赤毛のトラ猫を捜して狂気のように走り回る。ジェット旅客機が次々にテイク・オフする。

M 19 「メキシカン・エアライン」

ホリー

お願い！

帰ってきて、猫ちゃん！

あたし、おまえと別れられない！

わたし  
ホリー、ホリー

ホリー  
別れられない

あたしのところにもどっておいで、

お前と一緒に旅をするわ

大空の牧場と一緒に飛ぼうよ。

それからおまえに名前をつけてあげるわ

ホリー。

わたし  
ホリー  
わがまま言われても、縛られても

お前だけには我慢が出来るの

だって、あたしの心のひだを

知っているのはお前だけだから。

帰っておいで

二人で大空の牧場を通過して

旅をしよう！

大空が猫の顔の映像でいっぱいになる。舞台上に数人のコロスが登場する。猫のマスクを  
かけている。詩をモノトーンで朗唱する。

クロス

たよりに進め、たよりに進め、たよりに進め

大熊座をたよりに進め

ホリーよ、自由の地へと、

大空の牧場が待っているから

大熊座をたよりに進むなら

太陽が沈み、ウズラがはじめて鳴くとき

大熊座をたよりに進め

ホリーを自由の地へ運ぼうと、

あの銀色の翼の鳥が待っているから

大熊座をたよりに進むなら

わたし

君は多くの人を捨てた

同時に多くの人に捨てられた

君はいろいろな出会いと別れから

勉強したはずだ

ゴライトリーさんがグレイハウド・バスの後部座席で

泣いたことを知っているかい

ラストイがパンチ・ボールに

涙の滴を落としたことを知っているかい

フレッドはベトナムの泥沼を血で真っ赤に染めて

死んで行った

みどり子のように君の名前を呼びながら

天国へ旅だった

O・J・も泣いた

ホセも泣いた

そして、ジョーも泣いた

ホリー、君は知っているのだよね

自由の悲しみを

自由の冷酷さを

だって、ジョーにこう言ったものね

この歌はシーンの情緒と極端にコントラストをなしている。ホリーはつられて歌い出す。泣きながら明るい歌を歌うのだ。そして泣くまいと堪える。堪える。ホリーは悲しいのではなく辛いのだ。そういうホリーを見るから、観客は悲しい。



## MONO「テーマの曲」

わたしとホリィー

野生の動物なんか

かわいがっちゃだめよ

つばさを痛めた鷹だとか

足を折った山猫だとか

野生の動物はいくらかわいがってやってもだめ

かわいがってやればやるほど

だんだん丈夫になり

どうにか一人歩きできるようになると

森の中へ逃げ込むとか

樹の枝へ飛んでいってしまふ

そしてだんだん高い樹に移り

しまいには

空へ消えていってしまうのよ

野生の動物をかわいがると

けっきょく空を見上げて

ため息をつくことになるわ  
 空を見上げて  
 ため息をつくことになるわ

歌の終わり頃、ホリーは旅行用カバンをもって、メキシカン・エア・ラインのゲートへ  
 向かって駆けていく。

ホリーと猫とわたし

さようなら  
 さようなら  
 いつかどこかで  
 さようなか  
 さようなら  
 きつと、どこかで  
 まだ、会う日まで  
 さようなら、さようなら

ジェット機の爆音が場内を圧する。爆音がおさまると、悠久な時の流れを刻むサンバの音楽が流れている。それは悲しみと倦怠感をかんじさせ、同時に過去を懐かしむ響きさえもっている。この音楽の中で、エピソードに移行する。ニューヨークの人たちが舞台を通り過ぎる。半ばダンスで、半ばパントマイムで演じられる。時が経過して、今は現在である。

## 「ジョーのバー」

ジョーとわたしの二人。

ジョーがピアノを弾いている。私は猫を抱いている。それはホリーが飼っていた猫とは似ても似つかない猫である。私たちはこの猫に「ホリー」という名前をつけたのだ。

わたし

私とジョーは彼女との約束を守って

ひまがあると

スパニッシュ・ハーレムをあちこち

毎日のように、数週間も歩きました

トラ猫の姿を夢にまで見ました

しかし、冬の寒い、晴れた、ある日曜日の午後

とうとう彼を見つけ出しました

牧師が、画家が、サラリーマンが、警官が、デリバリーが、消防夫が、医者か、看護婦が、工員が、OLが、子供が、少年が、少女がコーラスとして登場する。

## M. 21 「テーマの曲(アドバンスト)」

わたしとジヨーとコーラス

野生の動物なんか

かわいがっちゃだめよ

つばさを痛めた鷹だとか

足を折った山猫だとか

野生の動物はいくらかわいがってやってもだめ

かわいがってやればやるほど

だんだん丈夫になり

どうにか一人歩きできるようになると

森の中へ逃げ込むとか

樹の枝へ飛んでいってしまう

そしてだんだん高い樹に移り

しまいには

空へ消えていってしまうのよ

野生の動物をかわいがると

けつきよく空を見上げて

ため息をつくことになるわ

眠りたくもなし

死にたくもなし

ただ旅をして行きたいだけ

大空の牧場を通って

野生の動物をかわいがると

けっきょく空を見上げて

ため息をつくことになるわ

ただ旅をして行きたいだけ

大空の牧場を通って

ただ旅をして行きたいだけ

大空の牧場を通って

わたしがコーラスを離れて、客席の中に進む。わたしは猫を抱いている。その猫を近く  
の観客の手に渡す。

わたし

みなさん、一〇年前に住んでいた場所や家を尋ねたことがありますか。すべてが変わってしまった  
っているか、まったく昔のままであつたりします。いずれにしても懐かしいものです。しかしその懐か

しきの中には苦い思い出がシミのようになって点々と残っているものです。ホリーが住んでいたアパートはやはり昔のたたずまいを残していました。しかしマダム・スパネラを除いて、住人はまったく入れ替わってしまっていました。マダム・スパネラは壁に刻まれた落書きのような、建物に住み着いたかびのような、いまわしい痕跡として一〇年後の今も暮らしているのです。

ホリーの消息は知れません。ことよったら明日あたり突然の手紙が無い込んで来るかも知れませんが、ジョーはホリーに豊かな生活をして欲しいとずっと祈り続けてきました。いや、そう考えることが信仰のようになってしまっています。

一方、わたしはホリーが結婚してどこかでひっそりと暮らしているのではないかと想像します。ことによったら、こういう大勢の人たちが集まる場所である日ひよっこりと出会うのではないかと、つい見回すのが習慣になってしまいました。

残念ながら、ホリーは今日ここにはいないようです。ことよったら明日、その辺の席にひっそり座っているかも知れません。そう思うと明日の舞台がまた楽しみになります。おや、もう九時です。ではそろそろ皆さんとお別れです。さようなら。

わたしが挨拶して、退場する。コーラスがシルエットになる。少して、静かに舞台が溶暗する。

おわり。

「ティファニーで朝食を」のご意見をお聞かせください。

小林志郎

メール・アドレス: DQJ10334@nifty.com